

RI2820地区

# 水海道ロータリークラブ



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 RI会長  
K. R. ラビンドラン 氏

**例会予定** 12月23日 法定休会  
12月30日 休会 定款第6条第1節

VOL. 53 No. 22(通算No. 2463)

2015年12月 16日(水) 例会プログラム

点 鐘  
ロータリーソング  
ビジター紹介  
出席報告  
SAA報告  
諸報告  
幹事報告  
会長挨拶  
会員卓話 鈴木邦彦会員



クラブ創立当初のバナーは、ロータリーのマークに「水」の字をあしらったものでしたが、創立10周年当時、バナーを変えたいという意見が出て、研究検討の結果出来たものが現在のものです。鬼怒川と小貝川にはさまれた水海道は、昔から水路を利用して、江戸に通じる要地として繁栄し、川との関わり合いの深い所です。

鯰は「如拙」の「瓢箪鯰」にあるよう、また幸を招く魚として、川魚の代表的な魚です。この「鯰」と「川」が当地の特色をもっとも的確に表すだろうと云うことで、東京女子美術学校講師であった増淵淳子先生が両川の清流に黄金の鯰を配して図案化したものです。

2015-2016年度 会 長 海老原良夫 幹 事 松崎隆詞

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790  
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386  
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



## 12月は疾病予防と治療月間

例会報告 VOL. 53 No21 (No. 2462) 12月 9日(水)晴れ (司会 石井康弘委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎会員卓話 廣井 信会員

### 誕生祝



《会員》古矢 満会員  
《ご夫人》鯉沼会員

### 米山功労者表彰



青木清人会員 海老原良夫会員

### 諸報告

親睦活動委員会 石塚克己委員長

12月11日(金)忘年会 37名の出席をいただいております。

18:10 白井石油さんまえよりバス出発

18:30 満月にて忘年会開会

国際奉仕研究会報告 五木田裕一国際奉仕委員長



去る12月6日(日)につくば市ホテルグランド東雲で行われました国際奉仕セミナーに参加して参りましたのでご報告申し上げます。

主な出席者は倉沢ガバナー、白戸ガバナーエレクト、研修リーダーとして長谷川パストガバナー、総括委員長に水海道クラブの瀬戸会員、石井委員などでした。

倉沢ガバナーによる点鐘のあと長谷川研修リーダーから挨拶、瀬戸総括委員長から研究会趣旨説明があり早速セミナーに入りました。最初は 2750 地区財団委員長である高橋茂樹様を講師に迎え「グローバル補助金を使って、充実したプログラムを」と題し講演がありました。この中で財団の仕組みや寄付金の流れにつきまして、大変わかりやすい説明がありました。また当該補助金を使用したプログラムの進め方について説明がありました。高橋様が所属する世田谷クラブを中心としたプロジェクトが紹介され、現地での活動や注意点等、実情に即したお話がありました。

午後の部の前半は、国際交流共同について地区の鶴田委員長をはじめタイ担当石川様、フィリピン担当池田様から現地の様子やこれまでの活動について報告がありました。いずれも現地の実情に合った支援が必要なのだと感じました。

後半は、大藤世界社会奉仕委員長の司会により「この指とまれ」事業に対する支援金の贈呈が行われました。11 クラブに対し総額 1,585,000 円が倉沢ガバナーより贈呈されました。その後各提唱クラブから現状や進捗状況について報告がありました。事業の中には現地国の事情で今回をもって終了させるものがあることなどが報告されました。

最後に白戸ガバナーエレクトから総評があり、今回の研修会を終了しました。

## 12月は疾病予防と治療月間

### 幹事報告 松崎隆詞幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

#### 理事・役員会報告

1. 2016-2017年度 地区役員推薦について  
国際奉仕委員会へ……瀬戸隆海会員、石井康弘会員、北村 仁会員
2. 新年会について  
1月13日(水) 18時より 幸すし 会費3000円
3. IMについて  
2月20日(土) 13時30分～ 受付 於:甲子亭

### 会長挨拶 海老原良夫会長 12月9日「復興の時間差」



12月6日、私は水海道さくら病院の復興支援感謝DAYに参加してまいりました。

当クラブ廣井信会員は理事長として『奇跡の復興』の指揮を執られました。

さくら病院の被害総額は約8億6千万円とのこと。9月15日に復旧活動第1日目をスタート、その日は復旧活動第83日目でした。

「壊れた石橋を、走りながら修復」するが如く、急ピッチで復旧を進めた全職員の力の結集による見事な早期復興の事例のひとつでありましょう。

改めて廣井信会員のご努力に対し敬意を表する次第です。

一方で今朝の新聞には、避難所から旅館やホテルへ引っ越す被災者の報道がなされていましたが、被災者のコメントには自宅再建の見通しは立っていないとのことでした。

これほどに「復興の時間差」は様々です。

私自身も水没した自宅の復興の方針が未定のままでおりますが、まずは RC 会長としての仕事として義捐金を寄せていただいた全国各地の RC へのお礼状宛名書きを事務局の和久さんとふたりで 11月13日(金曜)から16日(月曜)の4日間を掛けて丁寧に毛筆で揮毫いたしました。

その宛名書き最中に G 事務所から月信への出稿依頼が飛び込みました。締め切りが月曜という超特急の依頼でしたが宛名書きをしながら期限に間に合うよう提出しました。本来なら G 月信投稿の前にクラブの承認を得てからすべき処でしたがその猶予もなく松崎幹事への了承のみで投稿するやむなきに至りました。ガバナ―事務所の急ぎの申し出もなるほどと思われるほどに早速 12月号に載りました。

その月信12月号記事の下段写真に水没した我が家と家財道具が載っておりますが、これらの片付け作業にお力添えを戴いた災害ボランティアの方々に今、私は遅れ馳せ乍お礼状を書いています。その宛名のひとつに東京トヨタの6名の方々がいます。

かれらは今も毎月一度は福島の復興支援にも出向いているとの事です。トヨタの企業メセナに感心すると共に、あの福島の「復興の時間差」を思い知らされました。

このたびの常総の復興にも遠く厳しい道のりが待ち受けているように思われます。

### 会員卓話 廣井 信会員 「腹腔鏡手術」について



今日は腹腔鏡手術についてお話させていただきますが、その前に、12月6日の復興支援感謝 dayの様子をご紹介させていただきます。当日は海老原会長がご来院くださりお祝いと励ましのお言葉をいただきました。誠にありがとうございました。

この写真は当院の心臓部、ボイラー・給排水ポンプ室の様子です。小島ポンプ社長





## 12月は疾病予防と治療月間

でいらっしゃるロータリアン小島富雄様は、日曜日にも休日返上で病院に来てくださり修繕の指揮をとっていただきました。当院の施設課長鈴木が『本当に有難かった、頭がさがる思いです』とわたくしによく話します。寒くなる前に暖房と給排水システムの復旧が完了し、この後一気に病院の再建行程が進んでいきました。この場をお借りして、小島社長の惜しみないお力添えに、あらためて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

このように多くの皆様に支えられて“奇跡の復興”は達成されました。今回、わたくしどもは、皆様への感謝の気持ちと水害被災の記憶を忘れないように病院エントランスに銘板を作成しました。“水海道ロータリークラブ”様のご芳名もこのように刻印させていただきました。

さて、本題に戻らせていただきます。

腹腔鏡手術は25年前、1990年の腹腔鏡下胆嚢摘出術から始まります。今日では腹腔鏡下胆嚢摘出術は胆石・胆嚢炎の標準術式となりましたが、これを最初に行ったのは山川達郎教授です。山川先生は日本医科大学を昭和36年に卒業され第一外科(現消化器外科)に入局、後に東京大学消化器外科、帝京大学消化器外科で研究され日本初の腹腔鏡下胆嚢摘出術を成功させました。こうしたパイオニアが同門にいらっしゃったことからわたくしども日本医科大学消化器外科も1991年にはこの手術を開始しております。その後、手術器具の開発、改良が進み腹腔鏡手術は胃、大腸、肝臓、膵臓へと拡大します。この間、2004年には全国に先駆けて腹腔鏡下尾側膵切除を成功させ、現在では腹腔鏡下膵切除において国内最多の症例数を有しております。本日は私がこれまで携わってきた腹腔鏡下膵切除術のビデオを供覧し消化器外科医の仕事の一端をご紹介できれば幸いです。

腹腔鏡手術のメリットは拡大視効果(至近距離で臓器がみえる)、術創が小さい(整容面で優れる)、侵襲が少ない(術後の回復が早い)ことです。一方、デメリットとして鉗子を用いての手術のため触覚に乏しい、止血困難に陥ることがある、などが挙げられます。熱くなりすぎて手術を続行することは危険であり(知らず知らずのうちに熱くなっていることがけっこうあります)機を逸せずに開腹に切り替える判断が重要です。

これは当院における腹腔鏡下胆嚢摘出術の様子です。私の後輩、Dr. 水口(日本医科大学消化器外科助教)とともに手術をしますがモニター画面で解剖を確認しながらダブルチェックで手術手順を踏んでいきます。

ここで、肝・胆・膵の解剖についてお話しします。図のように肝臓をとりはらって、次に大腸、胃を取り除くとようやく十二指腸と膵臓の全貌が現れます。膵臓と十二指腸は“お腹の中”、にはなく“背中側”に埋もれている、専門用語では後腹膜臓器といえます。十二指腸は一回背中側にもぐってから再び腹腔内に出てくる、という感じです。膵切除は切除範囲によって①尾側膵切除(脾臓も一緒に切除してくる)②脾温存尾側膵切除③膵頭十二指腸切除(消化器外科のなかでは最も大きく難しい手術と言えます)④膵中央切除の術式に分類されます。腹腔鏡下膵切除の適応疾患ですがでは嚢胞性膵腫瘍がよい適応です。直径3cm以上で背部痛などの症状を伴う場合は積極的適応となります。ほかにインスリンノーマもよい適応です(インスリンを分泌する細胞が腫瘍化したもので過剰分泌による低血糖症状が起こる疾患です)。膵癌に対してはその悪性度が極めて高いことから腹腔鏡で手術をしてよいのか学会でコンセンサスが得られていません。下部胆管癌については悪性度が膵癌より若干低いことから腹腔鏡下膵頭十二指腸切除を実施しております。写真はアップルのスティーヴ・ジョブス CEO ですが彼も膵癌で亡くなりました。

それでは手術の実際をビデオで供覧いたします。29歳女性の症例ですが粘液性嚢胞性膵腫瘍の一例です。このように血管を凝固し引き続き切離するデバイスが開発、改良され腹腔鏡手術は大きく前進しました。摘出標本と術創ですがこれを開腹手術で行うと傷はこのように大きくなってしまいます。29歳女性にこのような小さな傷で手術を完遂できることが腹腔鏡手術のメリットです。

次の症例は十二指腸の消化管間質系悪性腫瘍(GIST と呼びます)の症例です。貧血精査目的で消化管を調べたところ十二指腸第4部に写真のような腫瘍が認められ生検でGISTの診断でした。腹腔



## 12月は疾病予防と治療月間

鏡の拡大視効果により十二指腸にまたがる上腸間膜動脈を至近距離でみながら剥離を進めていくことができます。術創もこのように小さく術後1週間で退院されました。これも腹腔鏡のメリットであります。

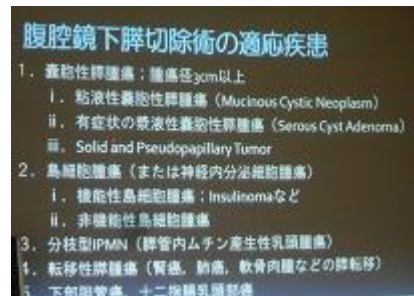
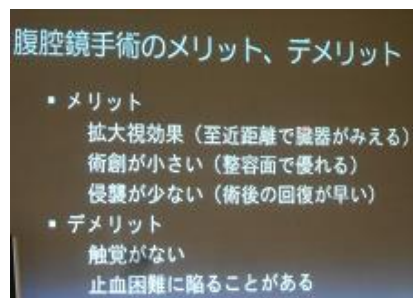
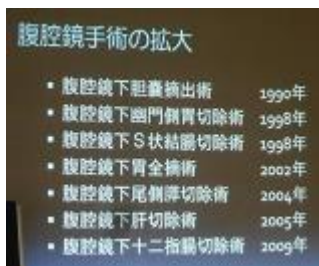
まとめです。

1. 腹腔鏡下胆嚢摘出術からはじまった腹腔鏡手術は肝・胆・膵領域への適応が拡大されてきた。
2. 腹腔鏡の視野は良好であり拡大視効果により局所の解剖の把握も容易であった。そのため術中出血量は少なく、術創の縮小、早期離床が可能であり今後さらに発展していく術式と考えられる。

ご清聴ありがとうございました。

医療法人寛正会 水海道さくら病院 外科 理事長 廣井 信

(日本外科学会外科専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本医師会認定産業医)



出席報告 荒井孝典委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メーク	出席率
55名	38名	17名	0名	1名	70. 91%

ニコニコボックス 染谷秀雄委員長

入金計 ¥20,000 累計 ¥997,000

誕生祝御礼《会員》古矢会員 《ご夫人》鯉沼会員

廣井会員本日の卓話よろしくお願ひ申し上げます。 海老原会員

その他 松崎会員

表紙の校正間違いをしました。因みに今週は年次総会がありません、すみませんでした。 二本松会員

今年も残す所あと2回の例会です。宜しくお願ひ致します。 石井会員

寒くなりました。 染谷(秀)会員

早退します。 島田・染谷(昭) 各会員

例会欠席しました。 熊谷・飯塚 各会員

会報委員会 二本松恭行委員長 亀崎徳彦副委員長 本橋美章委員



# 忘年会

平成27年12月11日(金) 於:満月



集合写真



海老原会長挨拶



武藤直前会長乾杯



斎藤エレクト締め挨拶



お土産


水海道ロータリークラブ忘年会ご参加の会員様

いろいろと大変なことがあった2015年でしたが、ときを忘れて楽しんでいただけましたなら、幸いに思います。

徴収した忘年会費からお土産にドリップコーヒーをご用意させていただきました。

コーヒーを1日3〜4杯飲む人は、ほとんど飲まない人に比べて心臓や血管、呼吸器の病気で死亡する危険性が4割ほど減るとの研究結果を、国立がん研究センターや東京大などの研究チームが公表しました。

朝に夕に一杯のコーヒーにより健康、お仕事、生活が潤うようお願いを込めました。



2015・2016年度  
水海道ロータリークラブ親睦委員会

親睦委員会から